

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今(ナウ)”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。 鹿児島県立図書館

令和3年5月15日 発行
第122号(毎月15日発行)
http://www.library.pref.kagoshima.jp
Tel: 099-224-9511



ホットニュース

ご存じですか?居住地返却サービス!

「読みたい本を県立図書館で見つけたけれど、返却日に県立図書館まで行けない…。」そんな思いをした経験はありませんか。
そんなときには、「居住地返却」サービスを御利用ください。
居住地返却サービスとは、県立図書館でお借りになった本を、お住まいの各市町村の公立図書館の窓口に「県立図書館の本です。」と伝え、返却できるというものです。ぜひ御活用いただき、せっかくの読書のチャンスを逃さないでください。
なお、本サービスにつきましては、鹿児島市内に居住されている方はサービス対象外ですので、御了承ください。

図書館で探そう、調べよう!

～今月のレファレンス(調査相談)から～

『野立』とはどういう意味でしょうか。

県立図書館の駐車場から緑が深まる城山を眺めると、黎明館の敷地に一つの石碑が確認できます。この石碑には、「御野立所跡」と刻まれています。この石碑について、『野立』とはどういう意味でしょう、そこで誰かがお茶をたてたということですか?と質問を受けたことがありました。

「のだて」と聞いて、お茶が思い浮かんでいたのですが、あらためて言葉の意味を確認するために『日本国語大辞典』(小学館)を開きました。「のだて 野立・野点」の項目には、「(野点)野外で茶をたてること。」という記述があると同時に、「天皇や貴人が野外で休息し展望すること。また、その場所。」という記述がありました。この2つ目の意味のようにも思えますが、確証がもてません。

そこで視点を変えて、石碑の由来に関係する資料に情報が無いかな調査を進め、『黎明館調査研究報告 第1集』にたどり着きました。この資料には、「黎明館敷地内の記念碑等についてー『黎明館敷地の歴史』の断片ー」(楠田靖夫著)という論文が掲載されていました。その中に、「二、御野立所跡の碑」の説明の中で、「昭和十年十一月十七日今上天皇が鹿児島に行幸された際、第七高等学校造士館を視察されたことを記念して、同校の職員生徒が三年後の同じ日に建てたものである。」という記述が確認でき、「野立」について御案内することができました。

新緑がまぶしく、さわやかな風が心地よい季節、県立図書館周辺で歴史を感じながらの散策はいかがでしょう。散策のお供には、当館の資料をどうぞ御活用ください。

《一般図書》5月14日(金) **新着図書案内** 《児童図書》5月23日(日)

- 『常識の1ミリ先を考える。』 長倉頭太/著 横浜タイガ出版
- 『百名山以外の名山50』 深田久弥/著 河出書房新社
- 『命とられるわけじゃない』 村山由佳/著 ホーム社
- 『訴えたらむしろ負ける!!ハラスメント図鑑』 こじらじ/著 大和書房
- 『出版翻訳家なんてなるんじゃない日記』 宮崎伸治/著 三五館シンシャ

- 『もしかして…』 クリス・ホートン/作 木坂 涼/訳 BL出版
- 『きみのなまえ』 あんずゆき/作 かなざわまゆこ/絵 佼成出版社
- 『ぼくに色をくれた真っ黒な絵描き』 北川佳奈/作 しまぎきジョゼ/絵 学研プラス
- 『ベランダに手をふって』 葉山エミ/作 植田たてり/絵 講談社
- 『なんで洞窟に壁画を描いたの?』 五十嵐ジャンヌ/著 中島梨絵/画 新泉社

催し物の御案内

○一般閲覧室ミニ展示 6月1日(火)～6月30日(水)
『『レッツ健康ライフ』展』
気分が沈みがちなこの季節。体を動かして、じめじめ気分を吹き飛ばそう。

○児童文化室ミニ展示 5月23日(日)～6月22日(土)
『『時間ってなーに?』展』
6/10は時の記念日。タイムスリップや時計のしくみ等、時間に関する本を集めました。

○第1回県立図書館ボランティア活動説明会 5月16日(日)
当館でのボランティアに関心のある方は、ぜひ御参加ください。

第2回は9月17日(金)の予定です。



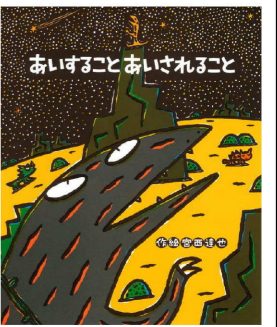
図書館職員のつぶやき

私にとって図書館や本は、身近な存在だったような気がする。
友達と絵本を読み聞かせし合った小学校時代、棚ごと、シリーズごとに読破した中学校時代、司書の先生との関わりが楽しかった高校時代、他学科の専門書まで読んだ大学時代。そのときごとに図書館があって、司書の先生がいらっしゃって、まさしく図書館は、憩いの場、学びの場であった。就学前は、母が毎月届く絵本等をそろえていてくれた。ありがたい子ども時代を過ごしていたのだと今更ながら思うことだ。
読書の習慣を付けさせるために、「読書の種をまく」という言葉を使うことがある。小さい頃の種まきは、周りの大人の役目でもある。私は児童文化室にいるが、子どもたちが棚に一直線に向かって本を選んだり、本を渡されて「わー」と歓声を上げたりする場面に遭遇することがある。その姿はすでに、種がまかれて芽が出ている姿だ。この先、美しい花が咲くに違いない。
子どもたちが、大人になっても「近くの図書館に行ってみよう」と思えるように、種まきや成長のお手伝いをしたい。カウンター越しに眺めながら、そう心に誓った図書館職員であった。

県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、宮西達也/作・絵の『あいすることあいされること』(ポプラ社)です。

ぼくがこのほんをえらんだりゆうは、おかあさんがすきだとおもったからです。ぼくも、おかあさんも、きょうりゆうがすきで、おかあさんは、とくにさくしゃのみやにしたつやさんのおはなしが、すきです。ぼくも、たまごからティラノサウルスが、うまれてきて、トロオドンとなかよくなるこのおはなしが、だいすきです。



図書館クイズ

にじいろのほん『ねずみくんのチョコッキ』
なかえよしを/作 上野紀子/絵 からのクイズです。

ねずみくんのチョコッキをライオンさんのあとに着(き)たのはだあれ?
①うさぎ ②からす ③うま

ヒント
パカパカはしるよ

こた 答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、6月13日(日)までにに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。
前回の答えは「①キリン」でした。たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
5月	9	10	11	12★	13	14◇	15◆
	16	17	18	19★	20	21	22
	23	24	25	26★	27	28◇	29
6月	30	31	1	2★	3	4	5
	13	14	15◇	16★	17	18	19◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時
※ 児童文化室は19時まで
日曜日・祝日(白塗):9時～17時

- は、休館日
- は、学習室のみ開室(9時～17時)
- ★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)
- ◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)
- ◇ は、一般閲覧室新着図書の日(5月14日,5月28日,6月15日[予定])
- は、児童文化室新着図書の日(5月23日)